

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和6年度上期（4～9月）決算についてお知らせします。

今期は、輸送人員、営業収入ともにコロナ禍前の水準の9割程度に回復し、旅客運輸収入が5年振りに上期1億円超えを達成しました。今後は新たな需要を喚起するとともに、延伸に向けての大幅な輸送増にも耐えうる組織体制を構築する段階となっています。

■輸送人員 62万7,755人

（対前年比5.3%の増、令和元年比8.2%の増）

■営業収益 1億3,415万円

（対前年比4.2%の増、令和元年比8.6%の減）

1 概要

（輸送人員）

上期の輸送人員については、通勤定期は、9万0,094人で、前年に比べ3,030人、3.5%の増となり、また、通学定期については、29万7,240人となり、前年に比べ6,972人、2.3%減となりました。一方、定期外旅客は、全国的なインバウンド需要の回復基調に乗じ、前年に比べ3万5,482人、17.3%増の24万0,421人の利用があり、令和元年度と比較しても90.6%の水準となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた上期の輸送人員は、62万7,755人で、前年に比べ3万1,540人、5.3%の増となり、美乃浜学園駅開業前の令和元年度と比較すると108.2%の水準となりました。

（営業収支及び経常損益）

営業収益については、旅客運輸収入は、945万9千円、9.9%増の1億0,532万3千円となり、令和元年度以来5年振りに上期1億円を超えました。運輸雑収を加えた営業収益は、1億3,415万3千円で、前年度に比べ543万3千円、4.2%増加しました。

一方営業費については、人件費やネモフィラシーズンに阿字ヶ浦駅から国営ひたち海浜公園海浜口まで湊線利用者を輸送する無料シャトルバスの運行費などの増により、前年に比べ140万6千円、1.0%増の1億3,960万7千円となりました。

この結果、営業外収益・費用を加えた経常損益は、464万1千円の赤字となりましたが、前年と比較すると500万2千円改善しました。

2. 輸送人員

(単位：人)

区 分	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
元年度上期 a	108,722	205,920	314,642	265,491	580,133
5年度上期 b	87,064	304,212	391,276	204,939	596,215
6年度上期 c	90,094	297,240	387,334	240,421	627,755
対前年比 c/b	103.5%	97.7%	99.0%	117.3%	105.3%
対元年比 c/a	82.9%	144.3%	123.1%	90.6%	108.2%

3. 営業収益・経常損益

(単位：千円)

区 分	定期旅客			定期外旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
元年度上期 a	18,205	25,380	43,585	71,804	115,389	31,351	146,740
5年度上期 b	14,255	24,719	38,974	56,889	95,864	32,856	128,720
6年度上期 c	14,702	23,706	38,408	66,915	105,323	28,830	134,153
対前年比 c/b	103.1%	95.9%	98.5%	117.6%	109.9%	87.7%	104.2%
対元年比 c/a	80.8%	93.4%	88.1%	93.2%	91.3%	92.0%	91.4%

区 分	営業費	営業損益	経常損益
元年度上期	144,102	2,639	3,007
5年度上期	138,201	▲9,481	▲9,643
6年度上期	139,607	▲5,454	▲4,641

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、坂本、大重
電話 029-262-2361